

## CP オール (CPALL)

ラオス・中国鉄道開通に伴うラオスの観光需要、国内でセター政権による現金給付の景気刺激策が追い風へ  
タイ | 食品・医薬品小売 | 業績フォロー

BLOOMBERG CPALL:TB | REUTERS CPALL.BK

- 2023/12通期は、総売上高が前期比8.0%増、EBITDAが同8.4%増。のべ来店客数増加および英テスコから買収したロータスが利益面で貢献。
- Siam Markoのキャッシュ&キャリア事業は増収減益も、セブン・イレブンのコンビニ事業、ロータスの小売り・モール賃貸事業が増収増益。
- ラオス・中国鉄道開通に伴うラオスの観光需要、および国内でセター政権によるデジタル通貨の現金給付含む景気刺激策が追い風になろう。

## What is the news?

2/23発表の2023/12通期は、総売上高が前期比8.0%増の9211.87億THB、EBITDAが同8.4%増の795.94億THB、純利益が同39.3%増の184.82億THBだった。1日当たりのべ来店客数が同5.3%増加したことに伴い既存店売上高が同5.5%増と伸びたほか、2020年末にCPグループが英テスコから買収したスーパーのロータスが利益面で貢献した。また、昨年12月末の店舗数が前期末比707店舗増の1万4545店（前年同期比5.1%増）へ拡大。相対的に高利益率の非食料品は、売上比率が同1.3ポイント低下の24.8%も、粗利益率が同1.0ポイント上昇の27.8%（食料品の粗利益率が同0.4ポイント上昇の26.6%）となったことから販売・サービス全体の粗利益率も同0.4ポイント上昇の21.9%へ改善した。他方、全体の売上高販管費率は同0.1ポイント上昇悪化の19.5%にとどまったことで効率性が改善した。

通期の主なセグメント別の業績は次の通り。①コンビニエンスストア事業は、総売上高が前年同期比12.6%増の4315.32億THB、税引前利益は同42.2%増の165.90億THB。②「Siam Makro」のブランド下で展開するキャッシュ&キャリア事業は、総売上高が同7.3%増の2660.18億THB、税引き前利益が同15.4%減の74.81億THB。③スーパーの「ロータス」が展開する小売りおよびモール賃貸事業は、同売上高が同1.3%増の2238.92億THB、税引き前利益が同2.5倍の34.92億THBだった。

## How do we view this?

2024/12通期会社計画は、タイ国内コンビニ店舗数が前期末比700店舗増、コンビニエンスストア事業への設備投資支出が120-130億THB（内、店舗拡大が38-40億THB、店舗改装が29-35億THB、新プロジェクト・子会社・物流チャネル向けが40-41億THB、固定資産・ITシステムが13-14億THB）。また、海外店舗数は、昨年12月末でカンボジアが82店（9月末比10店増）、ラオスが3店（同2店舗増）と拡大の中、2024年末会社目標はカンボジアが前年末比40店舗増、ラオスが同7店舗増目標である。

ラオスは、中国の「一帯一路政策」のもと、2021年12月に開業したラオス・中国鉄道の輸送量が旅客・貨物共に着実に利用実績を伸ばしていることから、観光需要の高まりを受けた成長拡大が見込まれる。また、タイ国内も昨年8月に成立したタイ貢献党中心の連立政権であるセター政権が景気対策として総額5000億THBのデジタル通貨による現金給付を打ち出している。堅調な消費が追い風になると期待されよう。

## 業績推移

※参考レート 1THB=4.19円

事業年度	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12F	2025/12F
売上高(百万THB)	566,784	829,098	895,281	958,575	1,022,775
当期利益(百万THB)	12,985	13,271	18,482	20,940	24,328
EPS (THB)	1.33	1.39	2.06	2.32	2.69
PER (倍)	43.05	41.19	27.79	24.68	21.28
BPS (THB)	11.59	11.21	12.36	13.64	15.12
PBR (倍)	4.94	5.11	4.63	4.20	3.79
配当(THB)	0.60	0.75	1.00	1.14	1.33
配当利回り (%)	1.05	1.31	1.75	1.99	2.33

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	1.14	(予想はBloomberg)
終値(THB)	57.25	2024/2/23

## 会社概要

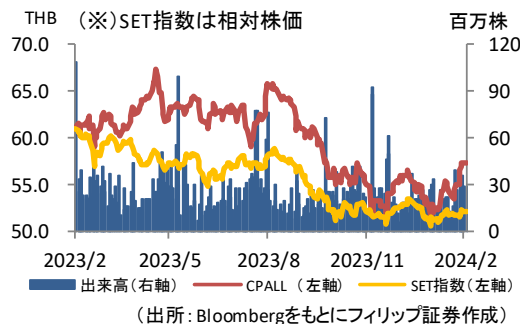
1988年にタイ最大のコングロマリットであるチャレン・ポーカバン(CP)グループにより設立。タイ唯一のセブンイレブン運営事業者。1989年に米国のセブンイレブンとエリアライセンス契約を締結。

①コンビニエンスストア事業、②「Siam Makro」ブランドのキャッシュ&キャリア事業、③2020年末にCPグループが英テスコから買収したスーパーのロータスが展開する小売りおよびモール賃貸事業、④その他事業（後払い支払いサービス、冷凍食品のプラントおよびベーカリー、並びに小売設備と教育サービスの提供を含む）を展開している。

2023年12月末時点で、タイ国内で1万4545店舗を展開。その内、2080店舗がタイ石油公社(PTT)のガソリンスタンド併設のPTTを加盟店とする店舗である。バンコク周辺に57%、地方に43%。運営形態では、直営が50%、店舗事業パートナー(SBP)およびサブライセンスが50%である。

## 企業データ(2024/2/27)

ベータ値	0.99
時価総額(百万THB)	514,283
企業価値=EV(百万THB)	1,065,092
3か月平均売買代金(百万THB)	1,109.7



## 主要株主(2024/2)

1. CP MERCHANDISING CO LTD	31.08 (%)
2. STOCK EXCHANGE OF THAILAND	8.83 (%)
3. ステート・ストリート	4.16 (%)

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## リサーチ部

笹木 和弘  
+81 3 3666 6980  
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。